

イズライル・ゲルファント(Israel M. Gelfand)氏が2009年10月5日、逝去された。享年96歳。専門は関数解析学および表現論。作用素環論、無限次元リー環、調和解析、等質空間論など分野を超えて強力な影響力を持つ多くの業績を上げている。1989年には京都賞を受賞した。

茂木勇(もぎ・いさむ)氏(筑波大名誉教授)が2009年8月28日、悪性リンパ腫のため逝去された。享年89歳。専門は微分幾何学。著書に『微分幾何学とゲージ理論』(共著、共立出版)などがある。

赤池弘次(あかいけ・ひろつぐ)氏(統計数理研究所名誉教授)が2009年8月4日、肺炎のため逝去された。享年81歳。専門は統計科学。著書に『ダイナミックシステムの統計的解析と制御』(共著、サイエンス社)、『科学の中の統計学——現代科学と統計数理の接点』(講談社)、『赤池情報量規準AIC——モデリング・予測・知識発見』(共著、共立出版)などがある。

丸山正樹(まるやま・まさき)氏(京都大学名誉教授・同志社大学教授)が2009年4月13日、膵がんのため逝去された。享年64歳。専門は代数幾何学。著書に『グレブナー基底とその応用』(共立出版)がある。本誌では「現代代数学の歩み——マムフォード」(2005年7月号)などを執筆いただいた。

高村幸男(こうむら・ゆきお)氏(お茶の水大学名誉教授)が2009年3月21日、くも膜下出血のため逝去された。享年77歳。専門は微分方程式。本誌では「数学者を目指す人のために「特異精薄」のすすめ」(1995年7月号)を執筆いただいた。

西島和彦(にしじま・かずひこ)氏(東京大学・京都大学名誉教授)が2009年2月15日、急性リンパ性白血病のため逝去された。享年82歳。専門は素粒子論。著書に『場の理論』(紀伊國屋書店)、『素粒子の統一理論に向かって』(岩波書店)などがある。

宮川鉄朗(みやかわ・てつろう)氏(金沢大学教授)が2009年2月11日、急性心筋梗塞のため逝去された。享年60歳。専門はナヴィエ-ストークス方程式。小誌では2000年11月号に「特集・21世紀への問題：[ミレニアム賞問題] ナヴィエ-ストークス方程式」をご執筆いただいた。